

～ホタル観察マップ～

座間谷戸山公園

※裏面の観察マナーちらしもお覧ください。

凡例

- 座間駅からのルート
- 駐車場からのルート



おすすめ
スポット



- ・園内では、6月上旬頃から下旬頃にかけてゲンジボタルが光る様子が見られます。
(発生のパークは例年6月中旬頃)
- ・6月1日から30日まで北口・東口・多目的駐車場の閉門時間を21:00まで延長いたします。
- ・混雑しますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- ・ライトは足元のみ照らしてください。

ホタルを観察される皆さんへお願い

大切な場所をいつまでも

残しておくために

～守ってほしい5つの約束～

① おどろかさないで！

ホタルは光を使って仲間同士で会話をします。

ライトをあてるとおどろいて光るのを止めてしまいます。

懐中電灯はつけないでホタルを観賞しましょう。

② 持ち帰らないで！

ホタルはゆっくり飛ぶので捕まえやすい昆虫です。捕まえて持ち帰ってもすぐに死んでしまいます。来年も観賞できるようにホタルを捕まえたり、持ち帰ったりしないで下さい。

③ 持ち込まないで！

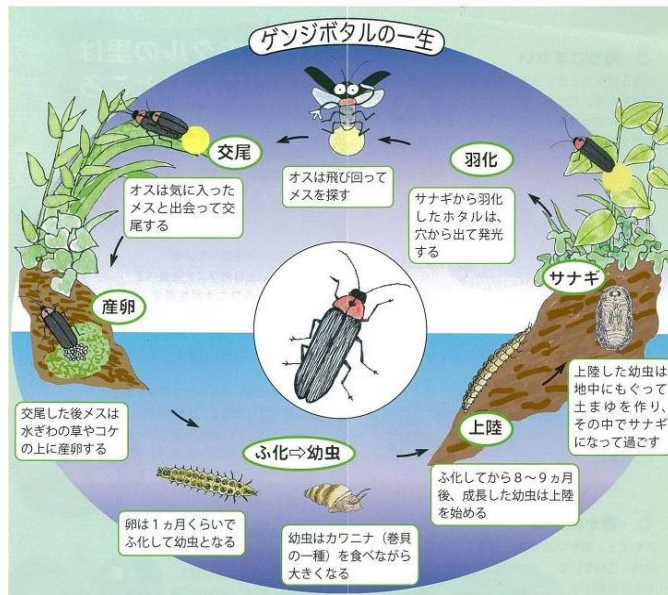
ホタルは長い歴史をかけてこの生息地の環境で生き続けてきました。そのため、ホタルはその地域特有の個性を持っています。よその地域のホタルを持ち込むと、その地域特有の個性をそこなうことになります。よその地域のホタルを持ち込まないで下さい。

④ 園路内で見えね！

ホタルの幼虫は小川の中で生活します。小川の畦は幼虫が上陸する場所です。小川を崩したり、小川の土手を踏み固めたりすると、幼虫が上陸して土のなかにもぐれなくなったり、土のなかから成虫が出られなくなります。

⑤ 静かに見てね！

騒がないで下さい。静かにホタルを観賞している人や、近所に住んでいる方々の迷惑になります。しずかにしてネ！



<ゲンジボタル生息に必要な多様な自然環境>

1 = きれいな水の流れ

ホタルの幼虫は流れのあるきれいな小川で成長します。

2 = エサになるカワニナの生息

ホタルはカワニナを食べて成長します。

3 = カワニナのエサ

カワニナは藻や小川に落ちた葉っぱを食べています。

4 = 幼虫が上陸してさなぎになる場所

サナギになるために小川の土手をのぼり、地中に入つてつちまゆ(土繭)という状態になります。

5 = 羽化する場所と飛翔する空間

いよいよ羽化して成虫になって飛翔する空間が必要です。

6 = 交尾して産卵する場所

湿った環境に生えるこけに産卵します。

このように多様な自然環境がホタル生息に必要です

座間谷戸山公園のホタルを大切に

<ホタルの出現場所・出現時期>

- ① 田んぼと湿生生態園のそばを流れる両側水路
- ② わき水の谷とその近くデッキ先の水路

<6月中旬が最盛期です>

<当公園ホタル保全ボランティアグループ>

当公園のホタル生息地の保全活動を、「座間のホタルを守る会」が行っています。水路の整備、水路に被さる樹木の枝払い、水辺の草刈りなど1年を通して行っています。また、ホタルの出現数の調査も行っています。